

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号

特許第4044028号
(P4044028)

(45) 発行日 平成20年2月6日(2008.2.6)

(24) 登録日 平成19年11月22日(2007.11.22)

(51) Int.Cl.		F I	
EO2D 5/60	(2006.01)	EO2D 5/60	
EO2D 7/02	(2006.01)	EO2D 7/02	
EO2D 31/00	(2006.01)	EO2D 31/00	A
EO2D 31/02	(2006.01)	EO2D 31/02	

請求項の数 6 (全 11 頁)

(21) 出願番号	特願2003-377725 (P2003-377725)	(73) 特許権者	503409654
(22) 出願日	平成15年11月7日(2003.11.7)		森脇 武夫
(65) 公開番号	特開2005-139747 (P2005-139747A)		広島県東広島市高屋高美が丘4丁目13番24号
(43) 公開日	平成17年6月2日(2005.6.2)	(73) 特許権者	591260672
審査請求日	平成17年7月8日(2005.7.8)		中電技術コンサルタント株式会社 広島県広島市南区出汐2丁目3番30号
		(74) 代理人	100099667
			弁理士 武政 善昭
		(74) 代理人	100107467
			弁理士 員見 正文
		(74) 代理人	100120101
			弁理士 畑▲崎▼ 昭

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 多重被膜材から成る杭の打設方法及びその杭構造

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】

表層の廃棄物層(A)と、その下層の粘性土のような遮水基盤層(B)と、更にその下層の支持地盤となる透水性地層(C)とを有し、地質が異なる廃棄物処分場の跡地において、表層の廃棄物層(A)から遮水基盤層(B)を貫通して透水性地層(C)まで杭(1)を打ち込む打設方法であって、

杭(1)の周囲に内側被膜材(2)の吸水ポリマーを塗布し、

外的要因の杭の打設速度による変形性能が、内側被膜材(2)とは異なるアスファルト、ゴム又は合成樹脂材のような材質の外側被膜材(3)を、内側被膜材(2)の周囲に筒状に形成し、

杭(1)を廃棄物層(A)に貫通させる際に、内側被膜材(2)と外側被膜材(3)との密着力が、外側被膜材(3)と廃棄物層(A)との摩擦抵抗より勝る打設速度で、外側被膜材(3)と内側被膜材(2)と一体に貫入されるように該杭(1)を打設し、

次に、廃棄物層(A)に貫通させた杭(1)を、遮水基盤層(B)内を貫通させ、透水性地層(C)まで打設する際に、内側被膜材(2)と外側被膜材(3)との密着力より、外側被膜材(3)と廃棄物層(A)との摩擦抵抗が勝り、内側被膜材(2)から外側被膜材(3)が剥離するような打設速度で杭(1)を打設することにより、

外側被膜材(3)を遮水基盤層(B)に連れ込まれずに廃棄物層(A)に残留させ、内側被膜材(2)のみを遮水基盤層(B)及び透水性地層(C)へ貫入させる、ことを特徴とする多重被膜材から成る杭の打設方法。